

関経連は、東日本大震災からの復旧・復興を全力で応援します。

# 関西経済レポート

関西の各種指標をみると、輸出や生産は、一部に持ち直しの動きがあるものの、海外経済減速などの影響から足踏み状態となっている。

生産は、弱めの動きが続いており、設備投資にもやや弱めの動きがみられる。雇用が徐々に改善するもとで、個人消費は緩やかに持ち直している。

先行きについては、電力供給への不安、海外経済の動向や為替相場の影響等に注視が必要である。



2012年4月18日

関経連経済調査部

※本レポート中の「近畿」「関西」の範囲は滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県。

ただし鉱工業生産、大型小売店販売額については、福井県を含む2府5県。

～目次～

生産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

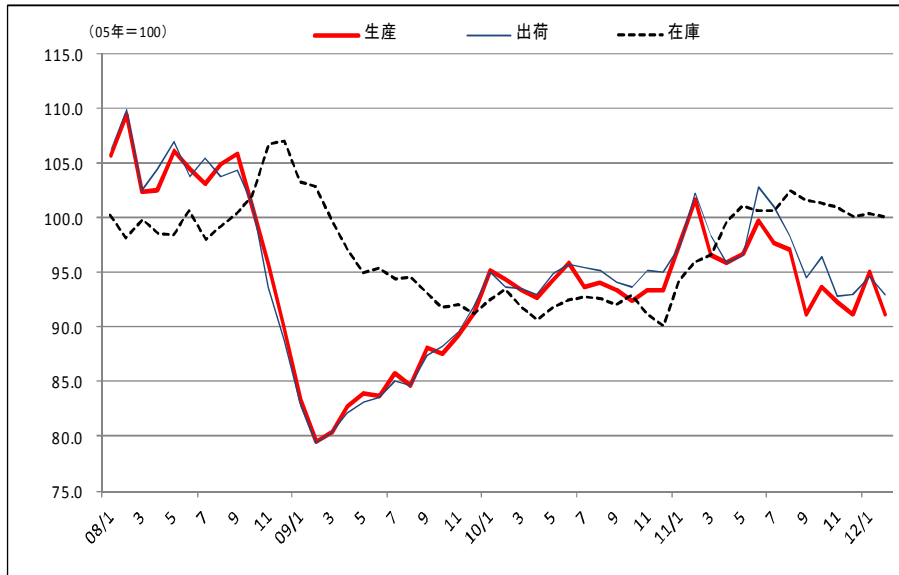
輸出入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

個人消費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

雇用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

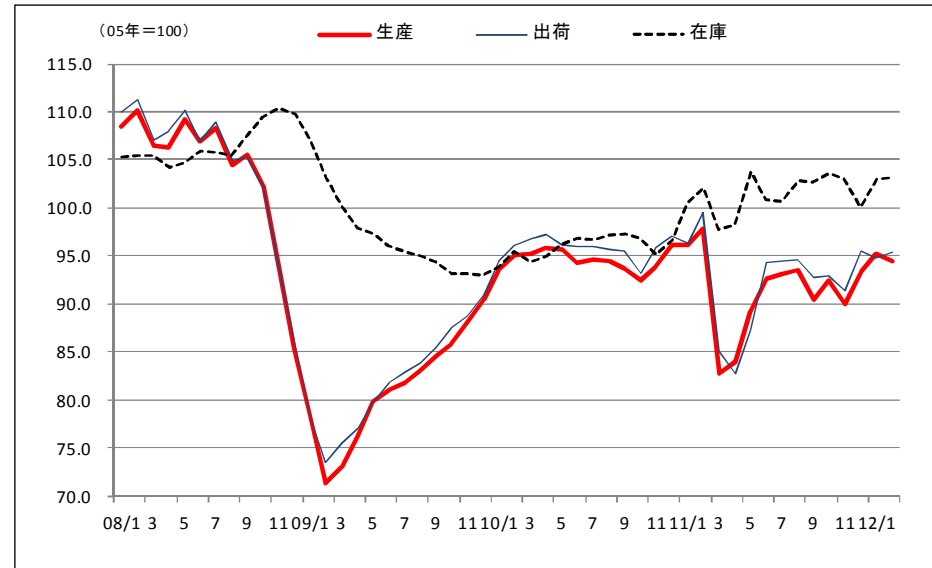
# ～生産～

鉱工業指数の推移（近畿 2012年2月速報まで）



(出所) 近畿経済産業局

鉱工業指数の推移（全国 2012年2月確報まで）



(出所) 経済産業省

業種別鉱工業  
生産指数  
(前月比、%)

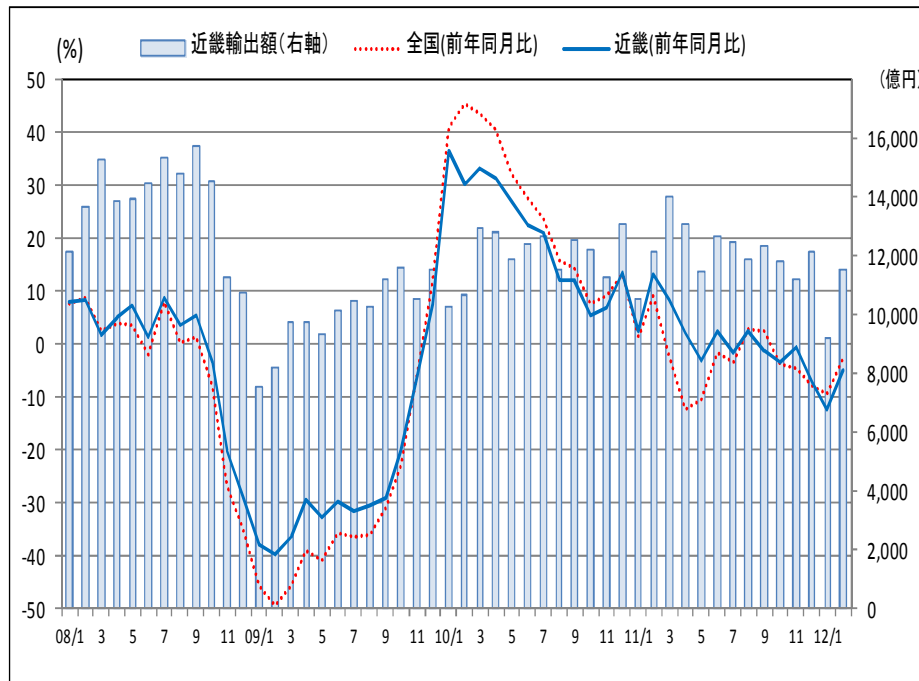
\* 網掛は、生産が  
前月比プラスの業種

	全体	鉄鋼	金属製品	一般機械	電気機械	情報通信 機械	電子部品 デバイス	輸送機械	化学	食料品 たばこ
近畿12月	▲ 1.0	1.9	▲ 10.2	▲ 0.9	▲ 4.1	19.2	▲ 3.8	9.7	▲ 4.5	0.0
近畿1月	4.2	4.1	1.1	10.5	▲ 1.9	12.3	▲ 6.0	▲ 0.8	5.9	1.8
近畿2月	▲ 2.1	2.4	▲ 3.6	▲ 7.6	▲ 1.6	30.4	9.7	▲ 4.7	▲ 3.1	▲ 0.6
全国2月	1.5	▲ 1.7	▲ 1.6	4.5	▲ 1.6	▲ 16.0	▲ 4.8	11.9	▲ 1.1	0.0

- ・ 近畿の2月（速報）の鉱工業生産指数は、93.0。前月比▲2.1%と2カ月ぶりの低下。総じて見れば、生産は横ばい。  
出荷は前月比▲1.1%の93.6と、3カ月ぶりの低下。在庫は、前月比+0.1%の100.5と横ばい。  
業種別にみると、一般機械工業、金属製品工業、輸送機械工業（除、鋼船・鉄道車両）、化学品などが低下に寄与。  
品目別にみると、一般用蒸気タービン、アクティブ型液晶素子（大型）、コンベヤの生産が低下。
- ・ 全国の2月（確報）の鉱工業生産指数は、94.4。前月比▲1.6%と3カ月ぶりの低下。総じて見れば、生産は持ち直しの動き。  
出荷は、前月比+0.3%の95.3と2カ月ぶりの上昇。在庫は、前月比▲0.5%の103.1と2カ月ぶりの低下。  
業種別では、輸送機械工業、情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業が上昇に寄与。  
製造工業生産予測調査によると、3月、4月とも上昇を予測している。

# ～輸出入～

輸出金額・前年同月比増減率推移（2012年2月まで）

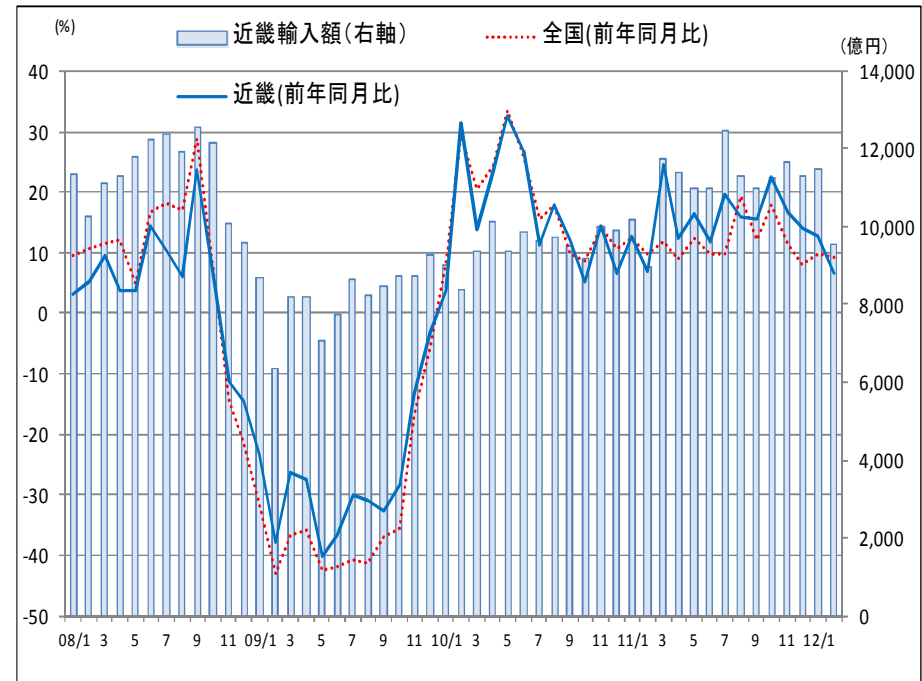


出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿)

## ○近畿の月次の輸出動向（2012年2月まで）

- ・ 2月の近畿の輸出額は1兆1,547億円、前年同月比▲4.8%。6カ月連続の前年同月比マイナス。
- ・ 地域別では、アジア向けが前年同月比▲6.1%と5カ月連続のマイナス。うち中国向けは同▲10.2%と3カ月連続のマイナス。EU向けは同▲18.6%と7カ月連続のマイナス、米国向けは同+0.5%と3カ月ぶりプラス。
- ・ デジタルカメラ等の映像機器、半導体等電子部品、半導体製造装置等が減少。
- ・ 全国の2月の輸出額は5兆4409億円、前年同月比▲2.7%と、5カ月連続のマイナス。

輸入金額・前年同月比増減率推移（2012年2月まで）

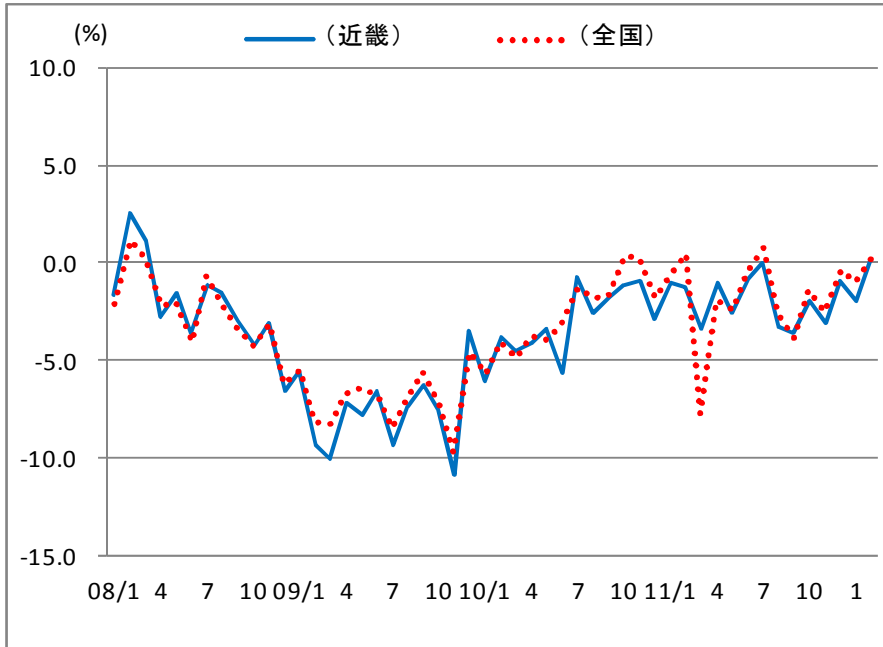


## ○近畿の月次の輸入動向（2012年2月まで）

- ・ 2月の近畿の輸入額は9,567億円、前年同月比+6.6%と26カ月連続のプラス。
- ・ 天然ガス及び製造ガス、通信機の輸入数量・価額が過去最高額。対アジアNIEsの輸入額が2月として過去最高。
- ・ 地域別では、対アジアが前年同月比+2.4%と26カ月連続のプラス。アジアのうち対中国が同▲4.6%と25ヶ月ぶりのマイナス。対米国が同-8.4%と7カ月ぶりのマイナス。対EUは同+12.8%と12カ月連続のプラス。
- ・ 全国の輸入額は5兆4,079億円、前年同月比+9.2%と26カ月連続のプラス。

# ～個人消費～

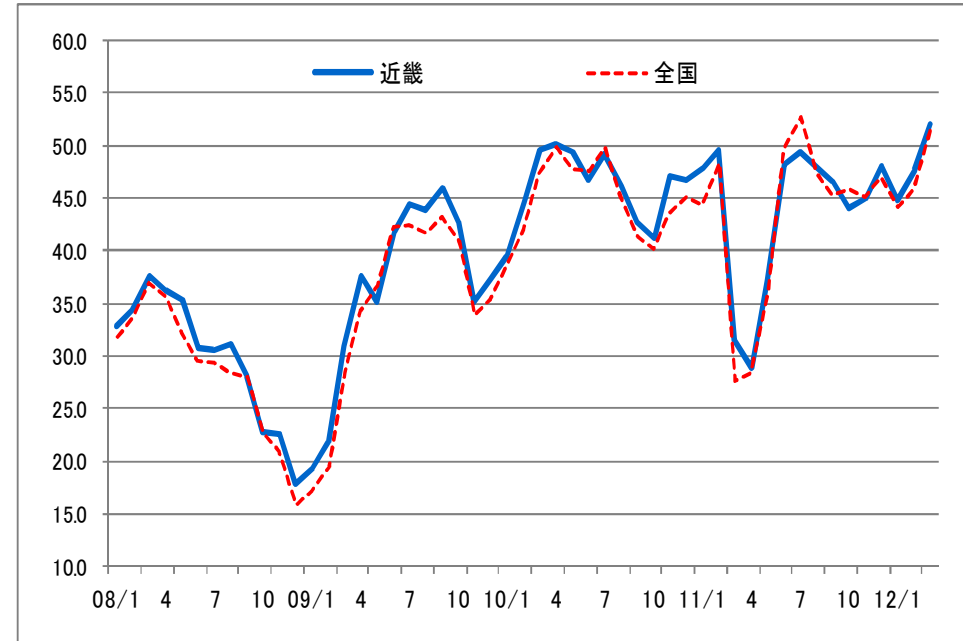
大型小売店販売額（前年同月比・2012年1月まで）



（出所）近畿経済産業局

- ・ 近畿の2月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(既存店ベース)は、前年同月比+0.2%と7カ月ぶりのプラス。
- ・ スーパーは同▲0.6%と39カ月連続のマイナス。
- ・ 百貨店は同+1.6%と、2カ月ぶりのプラス。
- ・ 引き続き増床・リニューアル効果がみられ、うるう年で営業日が1日多いこともあり好調だった。
- ・ 全国の2月の大型小売店販売額(既存店ベース)は同+0.2%7カ月ぶりのプラス。

景気ウォッチャー調査(現状判断DI・方向性 2012年2月まで)

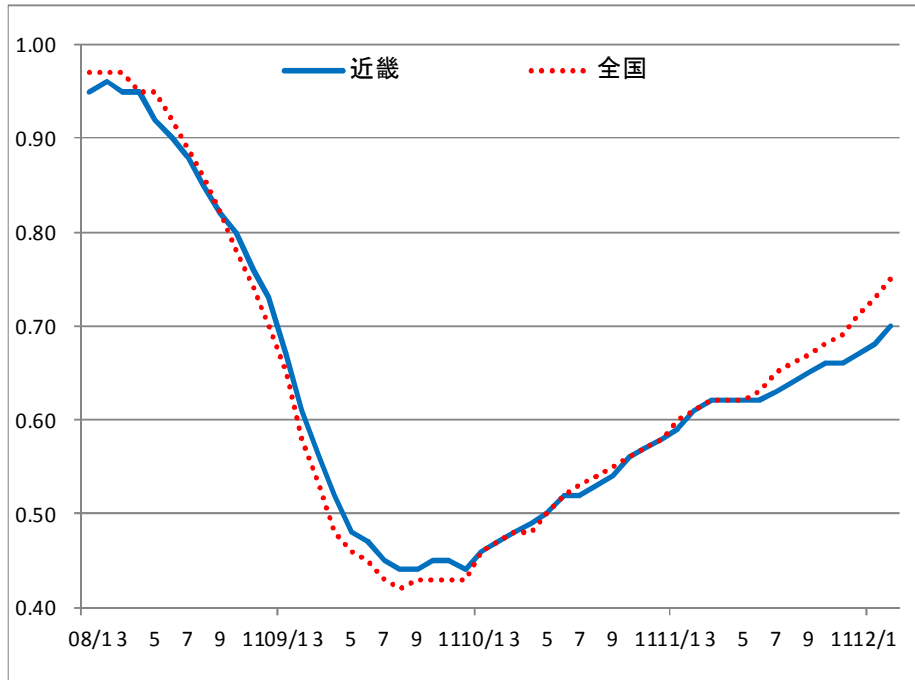


（出所）内閣府

- ・ 3月の近畿の現状判断DIは前月比+4.4ポイントの52.0と、2カ月連続の上昇。寒さが和らいだほか、震災から1年が経過し、旅行気分が高まっている。海外顧客に活気があり受注や販売量は、堅調に推移しているといった声があった。
- ・ 全国の3月の現状判断DIは前月比+5.9ポイントの51.8と、2カ月連続で上昇した。
- ・ 近畿の3月の先行き判断DIは前月比▲2.2ポイントの49.1と、2カ月ぶりの低下。節電志向や原油価格の上昇などが消費に悪影響を及ぼすといった声があった。
- ・ 全国の先行き判断DIは同-0.4ポイントの49.7。

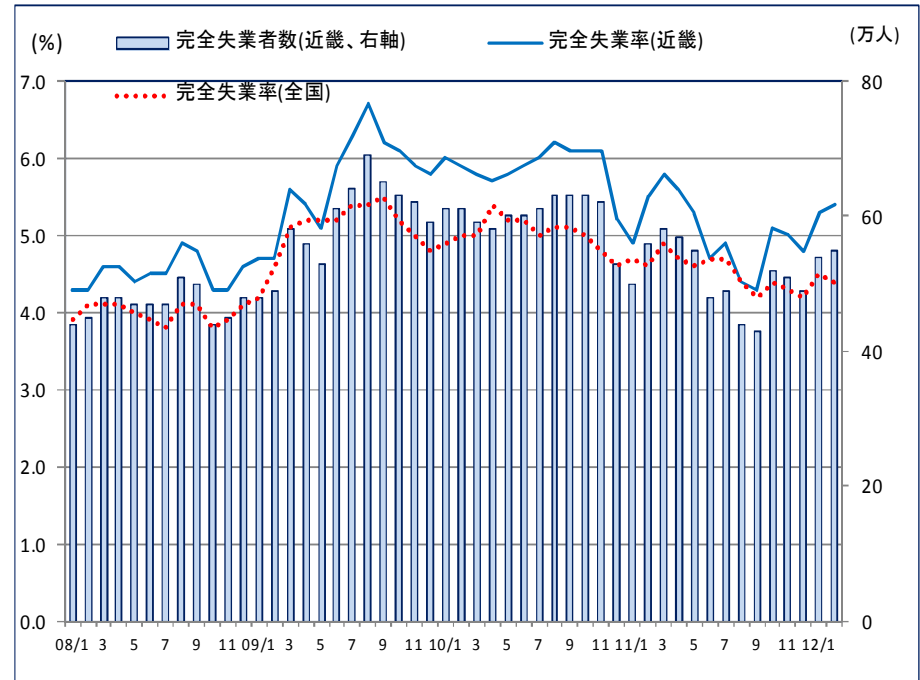
# ～雇用～

有効求人倍率の推移（季節調整値・2012年2月まで）



（出所）厚生労働省

完全失業率の推移（原数値・2012年2月まで）



（出所）総務省「労働調査」

地域別有効求人倍率（2012年1月：下段は前月比）

全国	北海道	東北	南関東	北関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
0.75	0.55	0.75	0.73	0.79	0.92	0.93	0.70	0.89	0.85	0.62
0.02	0.01	0.03	0.01	0.03	0.03	0.04	0.02	0.00	0.01	0.01

・2012年2月の近畿の有効求人倍率は0.70倍、前月比+0.02ポイントと4カ月連続の改善。

- ・全国は0.75倍で、前月比+0.02ポイントの改善。
- ・地域別の前月比では、全地域が上昇。東北は9カ月連続の改善。

- ・2月の近畿の完全失業率（原数値）は5.4%。前月比+0.1ポイントの悪化。前年同月比では-0.1ポイントの改善。
- ・2カ月連続で悪化。復興需要で雇用の増加があるが、複数企業の大規模な雇用調整が悪影響を及ぼしていると思われる。
- ・2月の全国の完全失業率（原数値）は4.4%、前月から-0.1ポイントの改善。
- ・2月の全国の完全失業率（季節調整値）は4.5%、前月から-0.1ポイントの改善。

※東日本大震災の影響により、全国の2011年3～8月分結果には岩手県、宮城県、福島県の結果は含まれていない。9月分から当該3県を含む結果となっているが、沿岸部を中心に、調査が再開されていない調査区もある。